

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成25年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成25年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成25年2月5日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の締結に努めた。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている①電気の供給、②自動車の購入及び賃貸借、③船舶の調達、④省エネルギー改修事業（ESCO事業）、⑤建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務、⑥産業廃棄物の処理に係る契約のうち、電気の供給を受ける契約及び建築物の設計に係る契約に関して、以下のとおり環境配慮契約がなされた。

（1）電気の供給を受ける契約

電気の供給を受ける契約の概要は以下の通りである。

施設名	契約方式	落札者	予定使用電力量
東京国立博物館等	一般競争入札（裾切り方式）	(株)F-Power	9,930,000kWh
京都国立博物館	一般競争入札（裾切り方式）	関西電力	3,866,400kWh
奈良国立博物館	一般競争入札（裾切り方式）	関西電力	3,540,268kWh
九州国立博物館	一般競争入札（裾切り方式）	九州電力	7,635,000kWh
奈良文化財研究所平城資料館地区	一般競争入札（裾切り方式）	エネット(株)	3,751,581kWh
奈良文化財研究所藤原地区	一般競争入札（裾切り方式）	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	1,576,311kWh
奈良文化財研究所飛鳥資料館地区	一般競争入札（裾切り方式）	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	748,353kWh

（2）建築物の設計に係る契約

建築物の設計に係る契約の概要は以下の通りである。

事業名	東京国立博物館正門周辺再開発設計業務
契約年月	平成25年4月
事業区分	新築

技術提案書に求めた耐震改修に関するテーマ	省エネルギー対策を考慮した環境配慮設計について
設計内容に盛り込まれた主な環境負荷低減措置	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能低放射複層ガラス（Low-eガラス）による日射遮蔽と空調負荷の低減 ・LED照明の積極的採用による照明エネルギーの低減

事業名	奈良文化財研究所本庁舎新営（建築）設計業務
契約年月	平成25年5月
事業区分	改築
技術提案書に求めた耐震改修に関するテーマ	省エネルギー・省CO2に対する方策
設計内容に盛り込まれた主な環境負荷低減措置	設計中

事業名	奈良文化財研究所本庁舎新営（設備）設計業務
契約年月	平成25年5月
事業区分	改築
技術提案書に求めた耐震改修に関するテーマ	省エネルギー・省CO2に対する方策
設計内容に盛り込まれた主な環境負荷低減措置	設計中

なお、自動車の購入及び賃貸借、船舶の調達、省エネルギー改修事業（ESCO事業）及び産業廃棄物の処理の環境配慮契約については、該当する案件がなかった。

以上